

京都帝國大學法學科大學

經濟論叢

第六卷 第三號

大正七年三月一日發行

論說

營業稅ノ課稅標準(二)……………法學博士 神戸 正雄

經濟的行爲ト道德的行爲トノ關係(四)……………法學博士 田島 錦治

實質上ヨリ觀察スル植民地ノ分類……………山本美越 乃

大阪ニ於ケル舊時ノ鹽問屋……………法學士 本庄榮治 郎

露國ニ於ケルまゝるくす說ノ發達(二)……………文學士 米田庄太郎

社會學ト社會科學(三)……………文學士 高田 保馬

我國ニ於ケル營利心ノ起源及發達(二)……………文學士 銅 直 勇

時事問題

取引所外ニ於ケル定期取引(二)……………法學博士 戸田 海市

勸業銀行ト農工銀行トノ問題(二)……………法學士 河田 嗣郎

雜錄

獨逸經濟學界近況(三)……………米田庄太郎

米國ノ戰時租稅法(二)……………在 米 阿部 賢一

米國ノ戰時海運政策(二)……………法學士 岸本熊太郎

社會批評家トシカあらいる(三)……………文學士 石田 憲次

暴利取締令ノ適用ニ就テ……………法學博士 神戸 正雄

取引所外ニ於ケル定期取引（二、完）

戸田 海市

二 取引所外ノ定期取引ト物價調節

歐洲戰爭ノ爲メ一般物價カ騰貴シテ經濟上社會上種々ノ弊害ヲ生スルニ至ツタガ、産業及生活上重大關係ヲ有スル種々ノ貨物ハ、一面需用ニ應シテ供給ヲ増加スルコトカ困難トナリ、他面ニハ一般物價ノ騰貴ニ刺戟セラレタル社會ノ投機心カ此ノ如キ供給不足ノ虞アル貨物ニ對シテ特ニ其作用ヲ逞フスルカ爲メ、其價格カ供給不足ノ程度以上ノ暴騰ヲ示ス場合モ少ナカラサルニ至ツタ。之ヲ以テ政府ハ一般物價ノ騰貴及特種貨物ノ暴騰ニ對シテ種々ノ調節策ヲ施コシタカ、就中世人ノ注目ヲ惹キシハ彼ノ暴利ヲ貪ル爲メノ買占賣惜ヲ取締ル所ノ農商務省令、即チ世ニ謂フ所ノ物價調節令テアル。此調節令ヲ適當ニ運用スルコトハ頗フル困難ノ事業テアツテ、一旦ヒ其運用ヲ誤レハ法ノ希望スル所ト正反對ノ惡結果ヲ生スル。例ヘハ戰爭前ヨリ一般物價ニ比シテ久シク低

位ヲ保チシ米價カ、近來一般物價ト同等又ハ夫レ以上ノ高位ヲ示スニ至ツタ爲メ、世間ニハ調節令ヲ適用シテ米價ヲ抑制スヘシト主張スル者カ少ナクナイ。併シ當收穫年度ニ於ケル收穫ハ天候不良ノ爲メ豫想ヨリモ減少シ、少クトモ三百萬石、場合ニ由テハ五百萬石近クノ鮮臺米及外米ヲ輸入スルコトヲ必要トスル狀態ニ在ル故、出來秋ニ於テ米價ニ相當ノ高位ヲ保タシムルコトハ、一面ニ國內ノ消費ヲ節約セシメ、他面ニハ外米ヲ呼寄セル作用ヲ爲スモノテアツテ、其結果ハ後日ノ暴騰ヲ防クコトトナル。然ルニ今日強テ米價ヲ低落セシムルトキハ消費ノ節約行ハレサルノミナラス、外米ハ或ハ其產地ニ消費セラレ、或ハ他ノ方面ニ散逸シ、從ツテ後日我米價ノ暴騰セル際ニ外米ヲ輸入スルコトカ不能トナル。故ニ政府ハ今ヨリ供給不足額ニ相當スル外米ヲ我國ニ買入レテ之ヲ輸入スルノ計畫ヲ立テサル限リハ、妄リニ米價ニ抑制スルコトハ甚タ危險テアツテ、寧ろ健全ナル投機的作用ヲ行ハシムルコトヲ適當トスル。此一例ニ由テ見ルモ調節令ヲ適當ニ運用セントスレハ世間ニ行ハルル投機の取引ニ付テ健全ナルモノト不健全ナルモノトヲ識別スルコトカ第一ニ必要テアル。

調節令ノ取締ラントスル所ノ買占賣惜ナルモノハ投機的作用ナル經濟活動ノ一種テアルガ、元來賣買ニ關スル投機的作用ニハ取引所ニ行ハルルモノト取引所外ニ行ハルルモノトノ別カアル、其ノ取引所ニ於テ行ハルルハ凡テ非現物の取引ノ形ヲ以テ行ハルル故、通例買フ者カ増加スレハ之ニ應シテ賣ル者モ増加シ、眞ニ買占ノ行ハルル場合ハ稀レテアル。調節令ニ定ムル所ノ買占賣惜ハ寧ろ主トシテ取引所外ニ於ケル現物市場ノ取引ニ付テ行ハレルモノテアル。固ヨリ此現物取引ハ取

引所ニ於ケル取引ノ目的ヲ達スルノ手段トシテ行ハルル場合モアルガ、同時ニ取引所取引ニ關係ナクシテ行ハルル場合ハ遙カニ多イ。何トナレハ取引所ニ於テ取引ヲ許ルサルハ少數ノ種類ノ商品及有價證券ニ限ラレ、而モ取引ノ許ルサルモノハ何レモ大量ニ存在スルモノテアツテ、少數ノ投機者ノ資力ニ由リ之カ買占賣惜ヲ行フコトカ甚タ困難ナルカラテアル。現ニ調節令ノ規定スル七種ノ商品ノ中取引所ニ於テ取引セラルルモノハ米ト綿絲トニ止マリ、此兩者ハ共ニ大量品テアツテ、之ニ關スル買占賣惜ハ極メテ制限セラレタル時ト所トニ於テ例外的ニ行ハレ得ルニ過キナイカラ、廣汎ナル市場ヲ相手トシテ行フ所ノ取引所市場ニ於ケル買煽リノ目的ヲ達スル爲メ、現物市場ニ於テ米ヤ綿絲ノ買占賣惜ヲ行フ場合ハ稀レニ起リ得ルニ過キナイ。此ノ如ク調節令ノ取締ラントスル買占賣惜ハ主トシテ取引所外ニ行ハルル現物取引テアツテ、又其取引カ間接ニ取引所取引ニ關係ヲ有スル場合モ稀レテアルガ、併シ世人ハ物價ノ暴騰ト云ヘハ直チニ取引所ノ投機取引ヲ聯想シ、從ツテ調節令ノ運用ニ付テモ直チニ取引所取引ノ監督ヲ要求スル。此要求ハ上述ノ如ク經濟界ノ真相ヲ誤解シタ結果テアルガ、併シ物價調節ノ必要ヲ感スル今日ニ於テ取引所取引ヲ初メ一般ノ投機的取引ヲ健實ナラシムルコトニ努力スルノ必要アルハ論ヲ待タヌ。

投機的取引ノ健全ナルヤ否ヤハ個々ノ場合ニ付テ之ヲ判斷スルノ外ハナイガ、之ヲ判斷スル重要ノ一標準ハ其取引カ適法ナリヤ不法ノモノナリヤテアル。投機取引ノ中最モ重要ノ地位ヲ占ムル所ノ定期取引ハ種々ノ重大ナル弊害ヲ生シ易キヨリ、取引所法ハ前述ノ如ク之ヲ取引所以外ニ於テ行フコトヲ禁止シタノテアルガ、今日重要ノ商品ニ付キ取引所外ニ於テ定期取引ト同一又ハ類

似ノ取引ノ行ハル場合カ少ナクナイヤウテアル。故ニ物價調節策トシテハ第一ニ此ノ如キ不法ノ取引ヲ取締ラネハナラヌ。取引所法ハ一切ノ定期取引ヲ取引所ノ市場ニ於テ一定ノ規律ノ下ニ慎重ニ行ハシメントスルモノテアルガ、今日我國ニ存在スル取引所ハ凡テ株式會社組織ノ取引所テアルカラ、其定期取引ヲ慎重ナラシムルノ方法トシテハ賣買證據金ノ強制徵收策カ最モ重要ナツテ居ル。曾テ論セシ如ク世人ハ株式會社組織ノ取引所制度ノ特色ヲ以テ強制擔保ニ在リト云フヲ常トスレトモ、此制度ノ重心ハ取引所カ取引上ノ破綻ヲ生シタ場合ニ賠償ノ責任ヲ負擔シ、以テ取引當事者ノ地位ヲ安固ナラシムルコトヨリモ、寧ロ賣買證據金ノ強制徵收方法ヲ適當ニ運用スルコトニ由リ、資力不相當ノ取引ヤ不穩當ナル相場ヲ有スル取引ノ發生スルコトヲ抑制シ、以テ定期取引ヲ成ルヘク健實ニシテ危險ノ少ナキモノタラシムルト云フ豫防的作用ニ在ルヲアル。故ニ我取引所ノ特色ハ之ヲ強制擔保ニ在リト云フヨリモ寧ロ證據金強制徵收ニ在リト云フヲ適當トスル。若シモ取引所カ保證金強徵方法ヲ適當ニ運用シテ取引ヲ健實ナラシムルコトヲ忘ツタナラハ、一方ニ於テ如何ニ其擔保資金ノ充實ヲ圖ツテモ、重大ナル取引上ノ破綻ヲ生シテ取引所ハ其賠償責任ヲ完フスルコトハ出來ナイ。取引所カ其擔保ニ由テ取引當事者ノ地位ヲ安固ニスルコトモ必要テアルガ、元來取引所ノ相場ハ一般經濟界ノ指針トナルモノテアツテ、其ノ影響スル所ハ一部ノ取引當事者ノ間ニ限ラレナイ。故ニ取引ヲ健實ナラシメ、從ツテ其上ニ現ハル相場ヲ穩當ノモノトナラシムルコトハ一層必要テアツテ、現行取引所法モ此必要ヲ充タスコトニ重キヲ置クモノテアル。

取引所ニ於ケル取引ハ此ノ如ク證據金ノ強微ニ由ツテ相場ヲ健實ナラシムルモノテアルニ反シ、今日取引所外ニ於テ同業者ノ間ニ延取引又ハ先物取引ノ名ヲ以テ行ハルル定期類似ノ取引ニハ、概テ相場ヲ健實ナラシムル特別ノ方法ナク、從ツテ甚シク無規律無節制ナル投機取引カ跋扈シ、其上ニ現ハルル所ノ不當ノ相場カ取引所市場ノ相場ニモ有害ノ影響ヲ及ホスコトヲ免レナイ。勿論取引所ノ取引カ從來常ニ健全ニ行ハレタトハ云ハレナイガ、是ハ制度ノ罪テハナクシテ制度運用上ノ缺點ニ由ルモノテアリ、其運用ニ付テハ或程度マテ政府カ監督權ノ行使ニ由テ之ヲ改善スルノ途カ存シテ居ル。故ニ物價調節ノ爲メニ不健全ナル投機取引ヲ取締ラントスレハ、先ツ以テ取引所外ニ行ハルル不健全ナ定期類似ノ取引ヲ禁遏セテハナラヌ。此行政權ノ行使ハ法律ニ準據スル簡明ノモノテアツテ、彼ノ廣大ナル自由裁量ヲ必要トスル調節令ノ運用ノ如ク、一般經濟界ニ不安ノ念ヲ生シテ經濟機關ノ自然ノ運行ヲ阻碍スルノ弊ナク、又行政權ノ濫用ヤ過誤ヲ生スルノ危險モ多ク存在シナイ。一體經濟界ノ變調ヲ呈セル今日ニ於テ調節令ノ定ムルカ如キ警察的調節手段ヲ設クルコトハ之ヲ否認スルヲ得ナイガ、併シ此等ノ手段タルヤ何レモ枝葉末節ニ屬シテ其效果モ狹キ時間空間ニ限ラレテ居ル。今日物價調節上カヲ注クヘキハ此ノ如キ枝葉ノ手段ヲ運ラスコトヲナクテ、一層根本的ニ着眼シ計畫スルコトテアル。根本的ノ計畫ヲ有效ニ行フトキハ枝葉ノ手段ハ大部分無用ニ歸スルノテアル。

投機取引ヲ行フニ最モ便利ノ形式タル定期取引及之ニ類似スル取引ハ、之ヲ公認セラレタル取引所ノ市場ニ集中シテ一定ノ規律ノ下ニ行ハシメントスル現行取引所法ノ主義ヲシテ、國民經濟上

眞ニ有利ノ制度タラシムルカ爲メニハ、現在ノ取引所ニ對シ大ナル改善ヲ行フノ必要ナルハ言ヲ待タナイ。現在ノ取引所カ不完全ニシテ其改善ノ餘地ノ多大ニ存スルコトハ何人モ拒ムヲ得サル所ヲアルガ、併シ現在ノ取引所ノ取引モ之ヲ無規律無節制ナル市中ノ定期類似ノ取引ニ比較スレハ、概シテ著シク健實ナルコトモ爭ハレナイ。此事ニ付テハ世間ニ今尙ホ大ナル誤解カアルヤウテアル。例ヘハ昨年末ニ於テ一時米穀取引所ノ定期相場カ著シク騰貴シタ際ニ、世人ハ直チニ罪ヲ取引所ノ投機作用ニ歸シテ之ヲ批難シタガ、當時ノ實際ニ付テ見ルニ取引所ノ不穩當ノ相場ヲ相當ニ永ク持續セシメタモノハ、取引所外ニ於ケル農民ヤ商人ノ投機的作用テアツテ、取引所ハ寧ロ此ノ如キ不穩當ナル相場ヲ牽制スルノ作用ヲ爲シテ居タ。即チ當時取引所ノ定期相場ヨリモ市中ノ正米相場ハ一層盲目的ニ強硬テアツタノミナラス、取引所ノ定期相場ハ期限ノ長キ取引ホド低位ヲ示シ、其相場ハ所謂逆鞘テアツタ。元來米ヲ供給スル者カ直チニ賣却セスシテ之ヲ貯藏スルカ爲メニハ、倉敷料金利削減等ノ保存費用即チ消極的生產費ヲ必要トスル故、受渡期限ノ長キモノハ其ノ短カキモノニ比シテ高價ヲ示シ、即チ長短期間ノ相場ハ順鞘ヲ示スコトヲ當然トスルニ係ハラス、當時ノ取引所相場カ此ノ如ク逆鞘ヲ示シタノハ何ヲ意味スルカト云フニ、取引所市場ハ當時ノ正米相場ノ高位ニ在ルコトヲ不當ト認メタノラアル。即チ取引所ノ定期取引ノ中期限ノ短カキモノニ在テハ、之ヲ履行スルカ爲メニ不當ナル高價ノ正米ヲ取得スルコトヲ要スル故、其定期相場モ已ムヲ得スシテ高位ヲ示スノテアルガ、本來此ノ如キ高位ノ正米相場ヘ到底久シク繼續スルヲ得サルモノト認メ、從ツテ期限ノ長キ定期取引ノ相場ホド低ク見積ツタノテアル。取

引所カ此ノ如キ逆輸ノ相場ヲ立テテ日々之ヲ天下ニ公示スルコトハ、一面ニ米ノ供給者ニ對シテハ其ノ未タ下落セサル間ニ速カニ米ヲ市場ニ供給スヘシト勸誘シテ目前ノ供給ノ増加ヲ促カシ、他面ニハ米ノ需用者ニ對シ現在ノ米價ハ不當ニ高キモノナルカ故ニ、成ルヘク其需用ヲ後日ニ繰延ハシテ相場ノ下落ヲ待ツヘキコトヲ勸告シテ目前ノ需用ノ減少ヲ促カシ、以テ目前ノ不當ナル高價ヲ抑制スルノ作用ヲ爲スモノテアル。從來米價ノ不自然ナル暴騰暴落ノ場合ニ於ケル取引所ノ定期相場ト市中ノ正米相場トノ關係ヲ見ルニ、僅少ノ例外ヲ除テハ常ニ定期相場ノ方カ健實テアツタ。只タ我國ノ取引所市場ハ其實力ノ尙ホ薄弱ナ爲メ、不穩當ナル盲目的ノ正米相場ヲ完全ニ牽制調節スルノ作用ヲ爲シ得サルノ憾ハアルガ、併シ世人ノ往々信スルカ如ク米價攪亂ノ中心ハ取引所ヲハナクテ、取引所外ニ於ケル投機的作用テアリ、就中農民ノ盲目的ナル投機心ヤ恐怖心テアツテ、取引所ハ寧ロ此ノ如キ攪亂作用ヲ牽制スルノ働キヲ爲シツツアツタノテアル。一體定期市場ト現物市場トヲ問ハス、一時的偶然的ノ事情ニ由テ相場ノ動カサルコトハ免レ難イ所テアルガ、健實ナル市場ハ此ノ如キ偶然ノ事情ニ影響セラレ乍ラモ、一面ニ汎ク時間空間ニ亘ツテ需給ノ狀態ヲ考量シ、常ニ其相場ヲ正當ノ方向ニ導カント努力スルモノテアル。此點ヨリ見レハ定期市場ハ現物市場ヨリモ一層賢明ナモノテアツテ、又此事タルヤ即チ現物市場ノ外ニ於テ且ツ其上ニ於テ定期市場ノ存在スルコトヲ必要トスル所以テアル。

取引所外ニ於テ定期類似ノ取引ノ行ハルハ、必シモ凡テ不當ノ原因ニ由ルモノテナク、實際ノ必要ニ迫ラレテ行ハルル場合モアル。故ニ取引所法ヲ厲行シテ取引所外ノ定期取引ヲ禁遏セント

スレハ、一面ニ取引所ノ改善ヲ怠ルコトヲ得ナイ。今日世人カ取引所外ニ於テ定期類似ノ取引ヲ行ハントスルニハ種々ノ原因カアルガ、其ノ重ナルモノヲ云ヘハ第一取引所ニ於テ取引ヲ行ノニハ多クノ費用ヲ負擔スルコトヲ要スル爲メデアル。此費用ノ中ニハ取引税取引所手数料仲買人口錢ヲモ含ムノテアルガ、取引税ノ輕減セラレタル今日ニ於テハ、此等ノ費用ヨリモ寧ロ多大ノ賣買證據金ノ提供ヲ要スルコトカ當事者ニ苦痛ヲ與ヘルノテアル。併シ乍ラ一般商業取引ノ健實ナラサル現時ノ我國ニ在テ、證據金ノ強制徴收ハ定期相場場ヲ健實ナラシムルニ必要缺クヘカラサル制度ヲアツテ、取引所法ノ最モ重キヲ置ク所テアルカラ、此制度ノ苦痛ヲ訴ヘテ取引所外ニ無節制ナル投機取引ヲ行ハントスルコトハ到底是認スルヲ得ナイ。第二ニハ取引所ノ仲買人ニ信用ヲ置キ難キコトデアル。仲買人ノ中ニハ資産ト品性トニ大ナル缺點ヲ有スル者ノ少ナクナイコトハ爭ハレナイガ、一面ニハ又取引所外ニ於テ無規律ナル投機取引ヲ行フコトカ一層安全ナリト主張スルヲ得ナイ。固ヨリ仲買人ノ人物ノ向上ヲ圖ルコトハ、取引所改善ノ根本策テアリ且ツ急務トスル所デアル。此問題ニ關シテハ從來屢見ヲ公ケニシタカラ茲ニ詳論スルコトヲ避ケルガ、要スルニ外部ヨリ制度ノ力ヲ以テ其向上ヲ促カス主要ノ方法ハ仲買人ノ保證金ヲ増額シテ薄資者ヲ取引所ヨリ淘汰スルコトデアル。第三ニハ取引所ニ於ケル取引ノ種類及方法カ經濟界ノ要求ニ適セサル點ノ存スルコトデアル。此點ニ關シテ世人ノ要求スル所ハ必シモ正當テナク、取引ヲ健實ナラシムル爲メニハ認容スルヲ得サルモノモアルガ、彼ノ綿絲ニ付テ取引所外ニ定期類似ノ取引ノ行ハルル一原因ハ取引所ノ定期取引ノ期限カ六ヶ月以下ニ制限セララルコトガ、商業ノ實際ニ適

シナイ爲メテアルトノ論カアル。元來進取活動のナル現今ノ經濟界ハ以前ト異ツテ頗フル變動カ多ク、數ヶ月後ノ需用供給ノ狀態ヲ確のニ豫想スルコトハ甚タ困難デアリ、從ツテ長キ期限ノ取引ヲ許ルストキハ取引ヲ甚タ不健全ナラシムルノ虞カ多イ。只タ綿絲業ニ於テ輸出及國內販賣上六ヶ月以上ノ長期約定ヲ行フ場合カ頻々トシテ起ルナラハ、取引所市場ニ於テモ之ニ應シテ定期取引ノ期限ヲ延長シ、以テ當業者ヲシテ取引所ヲ利用シテ繋キ取引ヲ行フコトニ由リ其地位ヲ安固ナラシムルノ途ヲ設ケネハナラス。予輩ハ綿絲ニ付テ六ヶ月以上ノ定期ヲ認ムルヲ必要トスルヤ否ヤヲ斷定スルニ充分ナル材料ヲ有タヌガ、兎モ角モ取引所法ニシテ實際ノ要求ヲ無視スルトキハ、一面ニ取引所法違反ノ取引ノ跋扈スルコトヲ防クヲ得ナイ。

取引所ニ於テハ定期取引ノ外ニ直取引及延取引ヲ行フコトヲ認メラレテ居ルガ、今日ノ實際ハ定期ヲ中心トシ、特ニ米穀取引所ニ於テハ全然定期取引ノミ行ハルルカ故ニ、取引所ノ外ニ特別ニ正米市場ノ設立ヲ許ルスヘシトノ論ハ、豫テヨリ一部ノ論者ノ主張スル所デアツタガ、近來必要品ノ價格調節ノ必要ノ高調セラルルニ伴ヒ、必要品ノ最タル米穀ニ付テ正米市場ヲ設ケ、以テ米價調節ノ一機關タラシムヘシトノ論カ起ツテ來タ。正米市場ト云ヘハ現物現金ヲ以テ即時受渡ヲ行フ所ノ市場ノ如クニ聞ヘルガ、此ノ如キ現物取引ノ爲メニ今日ノ正米商業以外ニ特別ナル市場ヲ設置スルコトヲ必要トスルヤハ甚タ疑問テアル。正米市場ノ設立ヲ計畫スル者モ實際ニハ其市場ニ於テ主ニ期限付キノ取引ヲ行ハントスルヤウテアルガ、定期取引ハ取引所外ニ於テ行フコトヲ許ルサレサルカ故ニ、正米市場ニ於テハ延取引ヲ主トセントスルヤウテアル。延取引ハ定期取引ノ如ク取引關係者全體ニ對シテ整一ニ期限ノ定マレルモノテナク、各個ノ取引ニ付キ區々ノ期限ヲ付スルモノテナクテハナラス。此ノ如キ取引ハ主ニ一定時日ノ後ニ現實ニ正米ヲ調製シ移輪

入シ又ハ飯米用トシテ需用スル者ノ行フ取引テアルガ、此種ノ取引ハ之カ爲メニ特別ノ市場ヲ設置スルノ必要ヲ感スル程頻繁ニ實行セラルルモノナリヤハ甚タ疑問テアル。日々市場ヲ開テ頻繁ニ取引ヲ行フノ必要ヲ感スルモノハ、此ノ如キ現實ノ需用供給ヲ爲スタメノ取引ヲハナクテ、單ニ賣買ノ差益ヲ得ルコトヲ目的トスル所ノ取引テアルガ、此種ノ取引ニ向ツテハ定期取引カ適當否ナ必要テアツテ、彼ノ取引單位ト期限ノ區々ニシテ轉々流通スルノ能力ヲ缺ケル延取引ハ其目的ニ合シナイ。故ニ今マ正米市場ノ設立ヲ許ルストキハ、從來往々ニ見ルカ如ク延取引ノ名義ヲ以テ事實上ハ定期類似ノ取引ヲ行フノ結果トナルノ危險カ甚タ大テアルト同時ニ、一旦ヒ特別ノ正米市場ノ設立ヲ認ムル上ハ、政府カ嚴重ナル監督ヲ行フモ其市場ニ於テ定期類似ノ取引ノ跋扈ヲ禁遏スルコトハ非常ノ難事テアル。若シモ現物取引及延取引ノ爲メ特別ノ市場ヲ設置スルノ必要カ切迫シテ居ルナラハ、假令ヘ定期類似ノ取引ノ發生スル危險アリトモ、市場設置ヲ認メサルヲ得ナイカラ、之ヲ認ムルト同時ニ定期類似ノ取引ノ跋扈ヲ防ク爲メ特ニ嚴重ナル監督ヲ行フノ策ヲ探ルコトヲ必要トスルテアラウガ、予輩ハ現物取引及延取引ノ爲メ、現今ノ正米商業以外ニ特別ノ市場ヲ設置スルノ已ムヲ得サル理由ハ未タ充分ニ證明セラレテ居ナイト信スル。

要スルニ物價ノ調節上有害ノ投機取引ヲ取締ルコトハ必要テアルガ、投機取引所ノ最モ好シテ採ル所ノ方法ハ定期取引テアルカラ、一般ニ定期取引ヲ健實ナラシムルノ必要カアル。然ルニ之ヲ健實ナラシムルニハ先ツ以テ取引所外ニ於テ定期取引ヲ許ルサスト云フ取引所法ノ根本方針ヲ鉤クマテ貫カチハナラヌ。是ハ獨リ現行法カ斯克規定スルカラテナク、此規定カ實際上正當ナモノテアルカラテアル。